

令和5年度宮城県精神保健福祉審議会への

日時2024年1月16日(水)私の意見
PM 6:30 ~ PM 8:30

白石市議会会長 我壽 睦夫
サマシラホル 貴任者

私は審議委員に任命されてから、向度もこの審議会に出席させていただきました。こういう場で心の病にかかって、率直に話せる機会を得たことに感謝しております。

しかし、残念なことに、精神保健福祉審議会で、委員の皆様から述べられた要望や意見が具体的に、どういふふうにも具現化されてきたのかを、振り返りすると、恐らく何も変わっていない、反映されていないことに、危惧の念をいじます。

県立名取医療センターの富合への移転の問題（審議会の委員の方々の反対しても、どうしても、移転しようとしている。

精神の病は、土日、祝日、夜中にも、いつ発症するかわからない。現在、24時間、救急医療に対応しているのは唯一、県立名取医療センターだけだと思います。県南にあるのは、民間病院だけであり、救急医療は、恐らく受けつけてもらえない状況です。何故富合に名取医療センターを移転するのか、全く、念点がございません。私は、断固として反対し続けます。人間の命が、お金で、買えるでしょうか。

宮城県についても、岩手県との境目から、白石市は、福島県との境目であり、姉妹委員もあつたように、全県を俯瞰して、移転問題も、地域抱抱ケアシステムの構築も、考えていかなければならないと思います。

心の病にかかって、早期治療、早期退院できるよう、入院促進事業、生活訓練の場としての、授産舎の増設、グループホーム、授産施設、相談支援センター、訪問活動のために、具体的に予算を確保して、それを実現していただきたいと思ひます。

私の意見としては、せつかく、こうして精神科の先方、直接精神保健に携わっておられる方々の集まる審議会です。この審議会での決断権はないとしても、どういったことを、どういふにしたいかと言ふことを、明確に提示して審議会に、議論してもらい、必要な予算を確保して、必ず、実現してもらふように、するべきであると思ひます。

今日の審議会での議題は、精神疾患に付いてはありますが、（例えば宮城県地域医療計画）、この審議会から、どうやって地域抱抱ケアシステムの底上げを計っていくか、審議委員会として、委員の方々の意見を集約し、具体的に県議会に諮り、予算を確保し、実現してもらふことと、お願い致します。